

Principal Correspondence

猪突猛進 何でも一生懸命取り組みます

2019年になりました。今年は茨城国体がすぐにやってきます。オリンピックとパラリンピックも、あと1年と数ヶ月になりました。亥年は「猪突猛進」という言葉が浮かびますが、私は今年「何でも一生懸命に取り組む事」をテーマにしたいと思います。

それは、この時期の子どもの脳の発達に一番大切なことだからです。

幼児期は3歳までに伸びた脳神経細胞の間引きが行われ、同時に残った脳細胞が樹状突起を伸ばしていく時期です。

脳神経回路網は間引きが適切に行われるほど、脳は良く発達します。植物をイメージすれば理解できると思います（『子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる！』幻冬舎新書、林成之著）。



この時期に必要なのは、物事に興味や関心を持ち感動することです。何でも一生懸命に取り組み、否定的な言葉を使わない。

中でも「人を馬鹿にし、尊敬できない習慣」を身に付けると知識や思考は素直に脳に入りません。家庭で、大人が人を見下したり馬鹿にしたりするような発言をせず、「あの人は偉いね！」「素晴らしいね」と、「良いところ」を誉めて尊敬するように仕向けることです。

はじめから上から目線で毛嫌いせず、何でも一生懸命取り組む子どもこそが、自分が才能に目覚めたときに、自発的に勉強やレッスンに取り組み、才能を伸ばしていくベースを培うことができます。人間性をつくる時期です。

10歳以降（幼少期を終えて少年期に入ってから）は、どんどん勉強・スポーツ・芸術に励んでかまいません。ただし、食事と睡眠はしっかり管理しましょう。

私たちは良き人間性を育み、校訓の下に最大限の教育効果をあげていきます。

「自立」・・・自力本願。自分がおかれている状況は、良し悪し全て、社会や他人のせいではなく、今まで自分のしてきたことの結果である。自分の将来は自分で責任を持つという心構え。

「創造」・・・これは、世界が求める21世紀に生きる人に必要な能力。21世紀型学力とも言われ、「課題発見」「課題設定」「課題解決」の一連の能力が必要です。そのベースには、幼少期の豊かな感性教育が必要です。

「リーダーシップ」・・・人は社会との関わり無しに生きてはいけません。社会の幸せなしに自分の幸せもありません。その社会（組織）が烏合の衆では困ります。良きリーダーシップがある組織は公正で効率的です。社会に貢献できる人材育成をしたい。本気でそう願っています。

今年度も、ラストスパートをかける時期になりました。来るべき春の開花を目指し、日々充実させて参ります。

Principal Correspondence

YAMANE & LILY community square (ヤマネ&リリー・コミュニティ・スクエア)

かつて水戸市山根には山根小学校がありました。

多くの子どもたちが、ここからリリー幼稚園にも通ってきました。

(リリー幼稚園から8分・リリーの森幼稚園から12分・リリーベール小学校から15分の距離にあります) その山根小学校は、双葉台小学校に吸収されて廃校となりました。

学校法人リリー文化学園は、山根地区の活性化の為に、山根小学校を再利用しYAMANE&LILY community square(ヤマネ&リリー・コミュニティ・スクエア)を設立します。

地域の交流地点のみならず、健康、スポーツ、教育、癒しの施設として新しいコンセプトのもと4月よりオープンいたします。

愛称はウォーターリリー
(Water Lily・睡蓮すいれん)です。

モネの睡蓮のような美しい環境にしたいと思います。



具体的には、スポーツに特化した学童保育・Water Lily 保育園(0, 1, 2歳のみ。3歳以降はリリー幼稚園か、リリーの森幼稚園に接続します)・カルチャー教室・高齢者健康教室や、将来は都会の子どもたちを対象の林間学校やキャンプ教室、芝のグラウンドと体育館を利用したスポーツクラブまで発展していきたいと考えます。さらに癒しと交流のために英国調の「カフェ Water Lily」を開店します。

1964年東京オリンピックのレガシーは、学校体育の多様化と充実でした。当時少年だった私は、見たことも無い競技や、素晴らしさに触れて感動したことを覚えています。そして全国の学校で様々な運動部が生まれました。50数年を経て、時代は教員の働き方改革により土日の部活が制限され、人口減で小規模学校ではチームの部活が困難になり、中高の部活動を学校の先生ではなくプロに任せようという流れになってきています。

2020年のオリンピックのレガシーは学校体育からクラブスポーツの時代への転換点になるかもしれません。こうした時代の変化を捉えWater Lilyが、地域のスポーツクラブへと育っていく事を夢見ています。

